

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象地域の住民の健康行動が推進される。
(2) 事業内容	<p>本事業はバングラデシュで疾病負荷が深刻化する非感染性疾患のリスクを低減させるため、3つの活動（活動1：健康教育実施、活動2：保健サービスの質とアクセスの改善、活動3：分野間連携による非感染性疾患対策の整備）を通じ、対象地域の非感染性疾患の予防と管理に関する能力の向上を目指している。2年次は活動1と活動2を主に進めている。以下に中間報告を行う。</p> <p>活動1：健康教育の実施（1年次からの継続）</p> <p>1-1 ソーシャルサポートグループとフィールドファシリテーターへ研修を実施 プロジェクトが育成したソーシャルサポートグループ（以下SSGとする）メンバーは、SSGが地域で選定・育成した127名のボランティアの協力を得ながら、非感染性疾患（以下NCDとする）リスクを軽減するための活動を行っている。3月に運動指導の日本人専門家によるワークショップを開催した。SSGから、学校での啓発活動も提案され、「中等部教師NCDリスク管理研修」の準備を進めている。</p> <p>1-2 コミュニティグループワークショップの開催 コミュニティグループ（以下CGとする）ワークショップは、1年目に3回実施され、今年度は9月に開かれる予定である。モニタリングは4月に行われた。</p> <p>1-3 啓発教材の開発 今年度は健康診断キャンペーン用の布ポスター（BMI・血圧チャート等）や旗を作成した他、ジョソール大学の栄養学部と協力し、バングラデシュ版食品単位表など実践の場に役立つ教材を作成した。現在、運動指導教材、掲示板、ステッカーの作成を進めている。</p> <p>1-4 啓発活動の実施 1-1で育成された人材は、中庭啓発・茶屋啓発・啓発劇・キャンペーンなどを通じて、今年度33,085人（キャンペーン参加者4,875人を含む）に啓発を行った。通算62,406人でこれは対象地域の約4割にあたる。各SSGメンバーは、自らの日常業務・活動の中で啓発を行っている（例：宗教指導者が礼拝時に啓発実施）。</p> <p>活動2 保健サービスの質とアクセスの改善</p> <p>2-1 プロジェクトが保健従事者に対し非感染性疾患に関する研修を実施 送金受け取りの問題、宗教行事、保健サービス局の他のプログラム実施などで遅れていた、政府の保健ワーカー研修を9月2・3日に実施した。保健サービス局・家族計画局のワーカー73人が参加した。すでに保健ワーカーは2013年1月に保健サービス局のNCD研修を受講しているが、疾病や症状についての講義が主で予防についての内容は含まれていなかった。プロジェクトは4つのリスク要因とNCDの因果関係を示し、リスクを避けるために何をすればよいか実践を重視した講義を含めた。運動指導も行った他、フィールドレベルでのフォローアップの進め方についてワーカーらの意見を聞く時間を設けた。県保健局局长、郡医務官が講師として参加した。（本研修の記事が9月3日クルナ管区紙「グラメル・カゴジ」に掲載された。）</p> <p>2-2 プロジェクトと地域関係者が健康診断キャンペーンを実施する。 当初計画していたメディカルキャンプを、2013年11月よりSSGが実施してきた健康診断キャンペーンに置き換えるための事業変更を8月末に行った。健康診断キャンペーンは、今年度33回実施し3,067人が参加（累計61回5,387人参加）した。</p>

	<p>2-3 登録された患者が保健医療従事者から継続的に指導を受ける。</p> <p>政府保健ワーカーによる継続指導のための対象者は、保健ワーカーに対する研修の後、選定基準を設定して決定されることとなる。世界保健機構は、「脳心血管疾患の予防に関するガイドライン」の中で、対象者と保健ワーカーのバランスを考えてターゲットを決めることを推奨している。本事業においても、政府によるサポートを最も求めている人にターゲットを絞る作業を進めていく。</p> <p>活動3 分野間連携による非感染性疾患対策の整備</p> <p>3-1 ユニオン開発調整委員会 (UDCC) の活性化支援</p> <p>3月30日に青年海外協力隊(JOCV/JICA)がUDCC強化研修を実施した。プロジェクトはJOCVとも協力しながら、UDCC会議の開催に努めている。これまでに2ユニオン(アラブプール・チュラモンカティ)が3回UDCCを開催し、のべ286人が参加した。政情不安の影響を受けて、野党側のユニオン議長(ボシュンディア)が逮捕され、他の議長も拘束を恐れて同じ場所に長時間いられない、という問題が起きており、大規模会議となるUDCCの開催が難しい場合がある。その場合は、ユニオンの月例会議や関係者が集まった会議を開催し、NCDリスク対策の活動を進めている。</p> <p>3-2 ユニオンを軸としたサービス調整</p> <p>NCDリスク低減を目的としたユニオンを軸とする分野間連携の強化は、3年次の活動であるが、すでにその動きが次のように部分的に生じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのユニオンは公衆衛生工学局の協力を得ながら砒素検査プログラムを開始し、571基の井戸の検査が行われ、150基(約26%)の汚染が確認された。 ・チュラモンカティユニオンには、糖尿病の重症患者が数名いるため、患者への支援方法を協議した。今年度同ユニオンは患者支援などの研修を実施するためにHuman Resource Developmentとして5万タカを予算化した。また、女性の重症患者の治療費を免除するための申請を糖尿病病院に行った。 ・チュラモンカティユニオンではこれまでの砒素検査167基中79基(約47%)が飲用不可と判定されたことから、砒素対策予算として5万TKを予算化した。 <p>その他の活動</p> <p>中間評価の実施:8月3日よりプロジェクトの強化対象者に対するフォーカスグループディスカッションとインタビューを行い、これらの情報を元に、全スタッフが参加し自己評価のためのワークショップを8月12日に行った。</p> <p>日本国内の活動:外務省NGO活動環境整備支援事業NGO研究会「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)とNGO」の一環として実施された連続セミナーにて、本事業の事例を元に、「UHC達成のためにフィールドを持つNGOが担える役割」について提言した(8月1日東京・新宿)。</p>
(3) 達成された効果	<p>指標 1-1 健康課題が各地域で設定される。→1年目にすべて設定した。</p> <p>指標 1-2 50%のCGメンバーが非感染性疾患予防の行動を取り入れる。</p> <p>CGメンバーへの3月のモニタリング調査で、76%のCGメンバーが少なくとも一つの予防のための生活改善を開始していると答えた。</p> <p>指標 1-3 啓発教材が完成する。</p> <p>デジタル教材、啓発劇、フラッシュカード、CC配布用チラシを作成した。今年度は、栄養指導教材、体操指導教材の素案を作成し、現場にて試行中である。</p>

	<p>指標 1-4 地域の健康課題を理解する住民の数(フォローアップ調査対象者の60%) 2014年4月に240名の住民を対象にフォローアップ調査を実施した結果、61%の住民が健康課題(NCDリスク)について、部分的ではあるが知識があると答えた。</p> <p>指標 2-1 保健施設の来所者の30%が保健ワーカーから生活指導を受ける。 保健ワーカーはチラシを用いて来所者(計11,212人、来所者の約1割)に生活指導を実施。</p> <p>指標 2-2-1 健康診断キャンペーンで発見される患者とハイリスク者の数 61回の健康診断キャンペーンで、5,387人中1,688人が高血圧でその内、955人(56%)が無自覚であった。有料(30tk)で血糖検査を受けた823人中、229人が高血糖。その内、129人(56%)が無自覚であった。これまでに、砒素患者は8人発見された。</p> <p>指標 2-2-2 健康診断キャンペーンの参加者の60%が体重と血圧に関して正しく理解する。→今後調査を実施する予定</p> <p>指標 2-3 CCに登録された患者の50%が保健ワーカーによりフォローアップを受ける。→今後活動を開始する予定</p> <p>指標 3-1 ユニオン開発調整委員会での非感染症に関する協議回数 2ユニオンで計3回UDCCが開催された。それ以外にも3ユニオンで7回の会議でNCD対策に関する協議が行われた。NCDに関連した協議内容：砒素検査状況、啓発状況、患者支援についての方針、啓発ドラマ上演の要請など</p> <p>指標 3-2 貧困化抑制・社会復帰支援を受けた患者の数 貧困を抱えるNCD患者の訪問を行い、患者・家族・地域住民の現状・ニーズについて聞き取りを行った。</p> <p>指標 3-3 研修の受講者の50%以上が習得した内容を実行に移す。→未実施</p>
(4) 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・9月中に村医者へのNCD研修を実施する予定である。 ・郡保健所および保健ワーカーらと協議を続け、NCDを抱える住民の中で、フォローアップ対象者を決め、保健ワーカーによる継続的な指導方法を検討する。 ・貧困化するNCD患者・家族の生活面における支援ニーズに対して、既存のリソースをマッチングさせるための調査を開始する。・健康診断キャンペーンの自立発展性に関する検証を開始する。具体的には、キャンペーンが多様な担い手で実施できるよう、担い手を変えてモデル検証を行う。